

授業科目等の概要

(工業専門課程 高度情報工学科)															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験・ 実 習・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			コンピュータ概論	IT技術者として必要なIT技術の基本知識を身に付ける。 情報処理技術者試験合格の為の知識の習得。	1前	108	-	○			○		○		
○			アルゴリズム	IT技術者として必要なアルゴリズムの基本知識を身に付ける。 情報処理技術者試験合格の為の知識の習得。	1前	60	-	○			○		○		
○			システム開発と情報化	システム開発を行うための基本的手順、開発手法、管理手法を学習する。 情報処理技術者試験合格の為の知識の習得。	1前	108	-	○			○		○		
○			Java	IT技術者（プログラマ）として必要なJavaプログラミング技術を身に付ける。 情報処理技術者試験合格の為の言語知識の習得。	1通	230	-		○		○		○		
○			午前知識応用	基本情報技術者試験合格に向けた午前知識応用問題の講義。	1前	40	-	○			○		○		
○			アプリケーション実習Ⅰ	文書作成ソフト「Word」の基本的な利用法を学ぶ。	1前	24	-				○	○		○	
○			アプリケーション実習Ⅱ	表計算ソフト「Excel」の基本的な利用法を学ぶ。	1後	60	-				○	○		○	
○			プレゼンテーションⅠ	社会人として必要なプレゼンテーション知識を身に付ける。 模擬プレゼンテーションを通して発表のノウハウを身に付ける。	1後	30	-				○	○		○	
○			就職実務	就職活動の基本的な流れを理解する。 就職活動に必要な知識を身に付ける。	1後	40	-				○	○		○	
合計					9科目		700単位時間(単位)		

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	17週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(工業専門課程 高度情報工学科)															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験・ 実 習・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			情報処理技術者試験特別講義	経済産業省「ITパスポート試験」合格に向けた講義を行う。 週1回以上 業者模試、過去問題により到達状況を把握し本試験合格を目指す。	1後	240	-	○			○	○			
○			C#	C#言語で学んだ知識を活かし、ストアアプリ開発を学ぶ。 XAMLによる画面制作・非同期API連携等の技術を学ぶ。	2前	72	-			○	○	○			
○			Webデザイン演習	HTML/CSSの基礎を学びWebページを作成する。	2後	72	-		○		○	○			
○			通信ネットワーク	ネットワークの基礎学習を行う。 コマンドプロンプトにてコマンド操作を学習する。	2後	15	-		○		○	○			
○			Access	Accessを使いDBの基礎を理解する。 Accessを使用した業務用フォームの作成方法を学ぶ。	2前	36	-			○	○	○			
○			Visual Basic	Visual Basicを用いて、業務用アプリケーションの作成を行う。	2前	72	-			○	○	○			
○			Oracle実習	リレーショナルデータベースの必要性と考え方について学ぶ。 SQLの習得を行う。	2後	30	-			○	○	○			
○			LAMP演習	Linux, Appach, MySQL, PHPを利用したWebシステム構築を行う。	2後	60	-		○		○	○			
○			UXデザイン演習	ビジョン提案型デザイン手法でのアプリ制作の手法を学ぶ。 ユーザーを意識したアプリケーション作成を出来るようにする。	2後	36	-		○		○	○			
合計					9科目		633単位時間(単位)								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	17週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(工業専門課程 高度情報工学科)															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験・ 実 習・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			プレゼンテーションⅡ	グループワークを行いコミュニケーション能力の向上を図る。 Powerによる発表を行いプレゼンテーション能力の向上を図る。	2通	72	-			○	○		○		
○			ImagineCup 制作	Windowsストアアプリ開発で学んできた内容を踏まえ、ImagineCup入賞に向けたアプリ制作を行う。	2後	147	-			○	○		○		
○			情報処理技術者試験特別講義	経済産業省「基本情報技術者試験合格」合格に向けた講義を行う。	2通	420	-	○			○		○		
○			LAMP演習	PHPを使用し、実際にWebサイトを開発することで、要件定義からデバッグまでの工程を経験する。	3前	144	-		○		○		○		○
○			就職実務	就職試験に向けた準備を整える。 実際の職場で求められるビジネススキル・ビジネスマナーを身に付ける。	3後	40	-	○			○		○		
○			モダンスタイルアプリケーション制作	Windowsストアアプリを作成し、VisualStudioの使用方法和アプリ制作の基礎を学ぶ。	3前	108	-			○	○		○		
○			ImagineCup制作ⅠⅠ	完成したアプリケーションへの機能追加。 ImagineCup入賞に向けたプレゼンテーション能力の向上。	3前	147	-			○	○		○		
○			ImagineCup集中制作	2年次で学んだC#の内容を踏まえ、ImagineCup入賞に向けたアプリケーション制作を行う。	3後	180	-			○	○		○		
○			情報処理技術者試験特別講義	経済産業省「応用情報技術者試験合格」合格に向けた講義を行う。	3通	240	-	○			○		○		
合計					9科目					1498	単位時間(単位)	

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	17週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(工業専門課程 高度情報工学科)															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ニューテクノロジー実習	既存のプログラミングにこだわらず、新しいデバイスについてのプログラミング技術を習得する。	4前	144	-			○	○		○		
○			卒業研究	アプリケーションの企画から実装まで行い、プレゼンする。 4年間の学習の集大成を発表し学習意欲向上に繋げる。	4後	123				○	○			○	○
○			キャリアビジョン	志望企業へ就職後の自身のキャリアパスを明確化する。 今後の学習意欲向上に繋げる。	4前	36		○			○		○		
○			ニューテクノロジーシステム開発	IoTプログラミングについて学ぶとともに、電子機器の制御手法を体得する。 pythonプログラミングの基礎を学ぶ。	4前	120				○	○		○		
○			システム開発ケーススタディ	実際のSEとしての業務の流れ(要件定義～設計)を実習を通して疑似的に経験する。	4後	120				○	○		○		
	○		IoT・ドローンテクノロジー実習	ドローンの仕組みを理解する。 Scratchを使用したドローンの操縦方法を理解する。	4前	180				○	○		○		
	○		IoT・ドローンテクノロジー演習	プログラム言語を用いたドローンの操縦方法を理解する。 RaspberryPiを使用したドローンの制御方法を理解する。	4後	240			○		○		○		
	○		ITビッグデータ活用実習	ビッグデータ解析の為に使用するライブラリの使い方を理解する。 Microsoft Azureを使用したビッグデータ解析方法を理解する。	4前	180				○	○		○		
	○		ITビッグデータ演習	RaspberryPiを使用したデータ解析の手法を理解する。 機械学習、ディープラーニングの理解を深める。	4後	240			○		○		○		
合計					9科目		963単位時間(単位)								
							合計時間数			3794単位時間					
卒業要件及び履修方法								授業期間等							
								1学年の学期区分		2期					
								1学期の授業期間		17週					

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。